



5月はマリア様の月でした。5月25日から分散登校が始まり、生徒の皆さんの元気な姿を見られたことを大変嬉しく思います。また、25日は聖心会の創立者、聖マグダレナ・ソフィア・バラの祝日でした。新型コロナウイルス感染予防対策のため、全校でお祝いすることはできませんでしたが、「神様への愛」と「生徒たちへの愛」に燃えて一生を過ごされた聖マグダレナ・ソフィア・バラの思いを心に留め、一人ひとりが協力と分かち合いの精神をもって行動し、一日一日を大切に過ごすことができますように。



6月の行事予定

	行 事	お弁当
1(月)	授業再開	要
2(火)	全校放送朝礼 母の会聖書サークル(10:30～、Sr.田口)	要
3(水)	中1～高1 2019年度 中3卒業研究発表会 (7校時)	要
4(木)		要
5(金)		要
6(土)	個人写真・クラス写真撮影(3校時)	不要
7(日)		
8(月)	中1寄宿生 自主学習指導開始	要
9(火)	全校放送朝礼	要
10(水)	中1寄宿生 自主学習指導開始	要
11(木)	聖心の祝日(通常授業)	要
12(金)		要
13(土)	中1～高2 通常授業 高3 ケンブリッジ英検	※
14(日)		
15(月)		要
16(火)	全校放送朝礼 母の会聖書サークル(10:30～、Sr.井出)	要
17(水)		要
18(木)		要
19(金)		要
20(土)		不要
21(日)		
22(月)		要
23(火)	全校放送朝礼	要
24(水)		要
25(木)		要
26(金)		要
27(土)	学校説明会 生徒家庭学習 英語検定①一次(外部会場)	
28(日)		
29(月)		要
30(火)	高校 進研模試①	要

※ 高3は昼食をご用意ください。

最終下校は17:30(学校送迎バスは17:00発)です。

Congratulations!!

◎ 実用英語技能検定 奨励賞

札幌聖心女子学院中学校が団体として受賞しました。

◎ 第73回 赤い羽根共同募金運動 感謝状をいただきました。

保育園にマスク寄贈

高校1年の福本あめりさんが、新型コロナウイルス感染拡大によるマスク不足の中、臨時休校の期間を利用して、布マスク300枚を手作りしました。

寄贈先の一つである吉田学園さくら保育園にて園長先生に寄贈いたしました。その後、札幌市子ども未来局長より福本さんに感謝状が贈呈されました。

福本さんは「今、自分にできることは何かを考え、家にある生地を使って手作りマスクの制作に取り組みました。マスクが不足する中、一人でも多くの方に喜んでいただけると嬉しいです」と話していました。



ピア・サポート・トレーナー認定

ピア・サポートとはピア(仲間)をサポートする(支える)活動です。本校の渡部公代教諭が日本ピア・サポート学会 ピア・サポート・トレーナーの資格を取得しました。生徒たちの学校生活が今まで以上に充実したものになるよう活動を広げていきたいと意気込んでいます。

オンライン学習・分散登校の様子



オンライン英会話学習



高校2年生 体育授業



図書館の様子



オンラインによる校長先生のお話



中学3年生 理科授業



中学1年生 宗教授業



高校1年生 ピア・サポート

今月の聖句

「一つのからだには多くの部分があって、すべての部分
が同じ働きはしないのと同じように、おおぜいいる私たちがキリストにあって一つ
のからだであり、ひとりひとり互いに部分なのです。私たちは、与えられた恵み
に従って、異なった賜物を持っています。」

ローマ人への手紙 第12章4～6節

この一節には続けて、「兄弟愛を持って心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに相手を優れたものと思
いなさい」という言葉もあります。私たちは、与えられた神様からのお恵みに従って、それぞれ異なった賜物
を持っています。自分にとってのそれがなんであるかを、これから周囲の人たちとの対話の中や、神様との対
話の中で、見つけていくことになります。それをお互いに尊重しあうことによって、この世の中を支えてい
く、皆さんがそんな力がつくように成長できるようにと、私は心から願っています。

そうした願いがあり、4月8日の中高合同入学式での聖書朗読でもこの箇所を選び紹介しました。新入生、
高入生以外の皆さんにも伝えようと、今回の「聖句」として紹介をさせていただきました。

神様から与えられたお恵みに従って、一人ひとりが持っているかけがえのない賜物。それくらい神様から愛
されている自分。そこに気付いていくのが、ここ札幌聖心での学びの素晴らしさだと思います。そうした神様
から愛されている自分に気付くことこそ、「人を愛する出発点」なのです。周囲の人たちとお互いに尊重し合
い、尊敬し合うことが、学校生活はもちろん、その後の皆さんの人生、生きていく場所での最も大切に尊いこ
とだと思います。このことを心にとめて、6月のイエスの聖心（みこころ）の月を過ごしましょう。

[担当：校長 齊藤 隆浩]